

苗の植え方・育て方

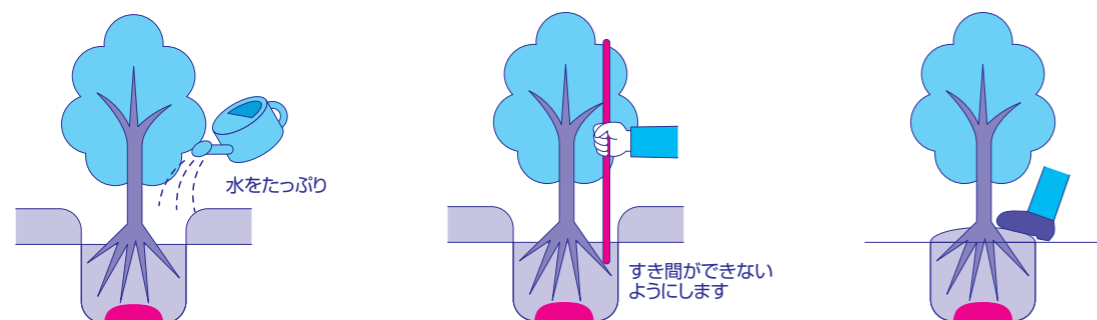
木は夏から秋に太ります。夏を越すまでは水をしっかりやりましょう。

《フルイ苗の場合》

- ① 地植えする穴へ苗木の根が広がるように置きます。全体の半分を埋め戻し、土をかぶせ水を穴いっぱいにはじめ注ぎ込みます。時間はかかりますが、ゆっくりと水がしみこみ、水が無くなってから残りの半分を埋め戻して下さい。水が流れ出ないように、周囲に土で土手を作るようにすると、いいでしょう。
- ② 再び、水をしっかりかけましょう。接ぎ木している箇所は地面から出るように植えて下さい。

〈ポイント〉

埋め戻す際に土と根の間にすき間ができていますので、しっかりと土が入り込むように、棒などを利用して、すき間なく突き込んで下さい。その時、根を傷めないように注意して下さい。



- ③ 肥料は、植えてから1か月以上たって適量を苗木の周りに、木にかからないように与えて下さい。肥料によっては、長く効く肥料があります。よく説明を読んで与えて下さい。

ブルーベリー

ブルーベリーは他家受粉です。別の品種と一緒に植えて育てると、果実も大きくたくさん実らせることができます。根が地表近くに出るため、土が乾燥するとすぐに生育に影響します。そのため、特に夏は水管理が大切です。

オリーブ

日当たりを好みます。
根が浅いので、強風などで倒れやすい特徴があります。支柱を添えるといいでしょう。

温州ミカン

日当たりと水はけがよく、風が吹き付けない場所に植えましょう。
夏に乾燥しやすい場合はワラなどで根元を覆うとよいでしょう。
最初の年の冬越えは、苗木に冷たい風が当たらないよう葉の部分をコモやナイロン等で、根元はワラなどで覆いましょう。

「一株植樹」運動に参加しませんか。

樹木には、四季折々の表情があり、私たちの暮らしに潤いを与えてくれます。また二酸化炭素を吸収し、土壌を豊かにし、SDGs目標15「陸の豊かさを守ろう」の実現に貢献します。

「一株植樹」運動は、毎年実施している緑化推進運動の一つです。苗木生産者の協力を得て優良な苗木を格安に提供いたします。

緑豊かな郷土とするため、この運動に多くの方が参加され、緑を育てていただきますようお願いいたします。

まず身近な家庭の緑化から始めませんか。

令和7年1月



この事業の収益は「**緑の募金**」に
充当させていただきます。

[申込締切]
令和7年
2月7日(金)
まで

[主催] 公益社団法人鳥取県緑化推進委員会

[協力] 鳥取県山林樹苗協同組合

北 栄 グ リ ー ン

【苗木の申し込み・引渡し】

※現金を添えて市町村役場に申し込んでください。

※苗木は、3月中旬にお渡しします。

苗木の配布日・配達場所については各市町村役場でご確認ください。

なお、苗木のお受け取りの際は、苗木を入れる袋を持参してください。

※この運動に対する照会は、本委員会又は各市町村役場にご連絡ください。

